

1. 補強工事の進捗について

【既設堰堤補強工】

既設堰堤補強工は、堰堤内部の空洞に充填材（セメントミルク等）を充填するもので、ホーリングマシンで堰堤天端から削孔し、グラウトポンプで注入を行っています。

5月から充填材や施工手順を確認する『試験グラブ』を行い、6月19日に完了しました。

現在は、本施工（グラウチング）を進めております。

本施工は、堰堤下流側のB列21本、上流側のA列22本、充填効果を確認する3本、合計46本の施工を予定しております。現在、B列の施工を行っており、9月末の完了を目指しています。



既設堰堤の削孔状況



充填材の注入状況



ボーリングマシン4台による施工状況（全景）



充填状況の管理室



充填材を攪拌するミキサーと グラウトポンプ

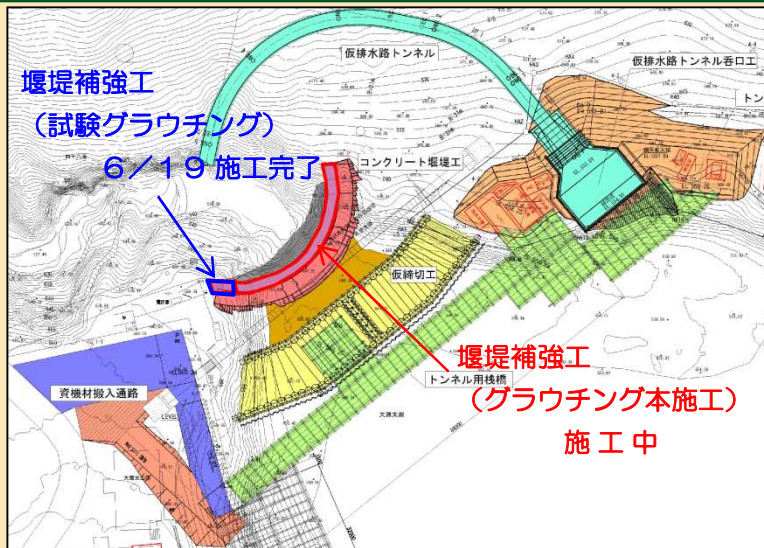
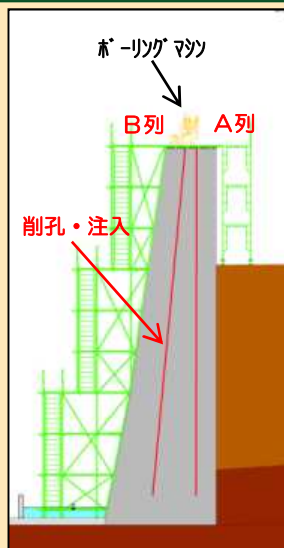
2. 工事工程

7月の実施工程は以下の通りです。

【既設堰堤補強工】

本施工（グラウチング）を行います。

堰堤下流側のB列を
先行して実施していま
す。7月は21本中、
15本の施工完了を目
指しています。

[illegible]

3. 谷後地区取水堰の濁水流下防止対策について

冬期間撤去していた谷後地区取水堰取水口の濁水防止フィルターの設置作業を、6月24日～27日に行いました。

当日は、雪解けの水も少なくなり河川水位も安定しておりました。田植えが終わり、水稻にとって水が大切な時期ではありましたが、地元皆様のご協力により、無事に施工できました。ありがとうございました。



濁水防止フィルター設置完了

4. インフラツアーが開催されました

6月29日（土）、雪国観光舎主催の『インフラツアー』が開催されました。地元はもちろん県外からもたくさんの方が参加され、砂防堰堤を見学して頂きました。今年度は、8月23日（金）に、第2回のツアーが予定されています。



工事の説明



希望大橋にて



大源太山を背景に



堰堤上流の湖底にて

参加者の方は、既設堰堤と仮締切間の湖水を抜いた湖底にも立ち寄り、今まで見る事が出来なかった「登録有形文化財」である既設堰堤上流面の石積を見学し、昭和14年当時の施工技術の高さに歓喜されていました。

工事はこれからも続きます。多くの方が工事に興味を示され立ち寄っていただければ幸いです。

湯沢砂防事務所のホームページから大源太川第1号砂防堰堤補強工事の最新情報をご覧ください。
アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/>」です。

工事に関するお問い合わせ

国土交通省湯沢砂防事務所（建設専門官）

TEL 025(784)2264

佐藤工業(株)大源太砂防堰堤作業所

TEL 025(775)7948